



# 名古屋の偉人伝

No.27

## 後藤鋤五郎(ごとうくわごろう)の巻

ここがスゴイ！

国の登録有形文化財になった道德公園(南区)のクジラ池噴水など、コンクリート製の巨大造形物を次々生み出しました！



趣深いクジラ池噴水

こんな人生を送ってきました

後藤鋤五郎は明治 25(1892)年に現在のあま市で生まれ、昭和 51(1976)年に亡くなりました。13 歳から名古屋市の山田工芸所に奉公に出て、親方の山田光吉から仏像などの作り方を教わります。この時代、彫刻の新素材として登場したのがコンクリートでした。安くて手に入れやすく、火事にも強いコンクリートは全国的に広まっていき、鋤五郎もこの新素材を使って数々の造形物を作り上げました。

18 歳のとき、名古屋教育水族館(実業家の山田才吉が私財を投じて建設。残念ながら現存せず)の竜宮門を製作。その後 28 歳で後藤工業所を開設し、道德観音山(スケート場やプールを備えた娯楽施設で、なんと山自体もコンクリート製！これも残念ながら現存せず)の観音像を手がけます。

そして昭和 2(1927)年、35 歳のときに手がけたのが、南区の道德公園にあるクジラ池噴水でした。鋤五郎は実際に動物を見て研究しながら作ったと言われています。

クジラ池噴水は、昔この地域が海だったことの象徴として今でも近隣の住民に親しまれ、令和 3(2021)年 7 月には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

その他、刈宿の大仏(西尾市)や聚楽園大仏(東海市)なども鋤五郎の手によるものです。

もっとくわしく知りたいあなたに

『近代史を飾るコンクリート製彫刻・建造物職人後藤鋤五郎』加納誠／著 後藤鈺 2004

『道德探検昔と今』加納誠／著 [加納誠] 2006

『南区制 100 周年記念誌』南区制 100 周年記念事業実行委員会／編集 南区制 100 周年記念事業実行委員会 2008

愛知県HP「登録有形文化財(建造物)の登録について」(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bunkazai/touroku-20210716.html>)[最終確認日:2021年7月26日]